


Rotary  あすかロータリークラブ
Asuka Rotary Club Weekly Bulletin

RI 会長 : K. R. "Ravi" Ravindran

地区ガバナー : 中澤 忠嗣

会長 : 澤 光彦 エレクト : 吉川 隆博

副会長 : 松中 久 幹事 : 森下 秀城

クラブ会報委員長 : 富士川拓也

Vol. 25 No. 34 (No. 1183) 2016 年 3 月 24 日発行

前回のニコニコ ¥46,000	全期会費預かり分 ¥1,665,000	今年度累計 ¥2,865,500
--------------------	------------------------	---------------------



里山訪問

於:生駒郡福貴畑の里 撮影者:井上重行

第 1183 回 2016 年 3 月 24 日 (木)

- 1 開会点鐘
- 2 ソング「我らの生業」
- 3 お客様紹介
- 4 会食
- 5 会長報告
- 6 幹事報告
- 7 出席報告
- 8 ニコニコ報告
- 9 委員会報告
- 10 本日の卓話
「視線の行方」我々を見つめかえす者たち
大阪大学 日本語日本文化教育センター
准教授 岩井茂樹様
- 11 閉会点鐘

1182 回報告 2016 年 3 月 17 日 (木)

於: 榎原ロイヤルホテル

ソング

「四つのテスト」

ソングリーダー 住吉 襄一君

出席報告

	全会員	免除者	出席者	MU	出席率%
第 1182 回	54	24	34 (13)	2	83. 72
第 1180 回	54	24	35 (11)	3	92. 68

ニコニコ

野々垣博紀君 先日は宮崎での榎の実会ゴルフコンペでメンバーに恵まれ優勝させていただきました。中でも松中久さんの神がかり的な OK と和田さんの雑音で緊張がほぐれました。なお、賞金はすべて帰りに仲川さ

- んと和田さんにコーチ料として八木でギョーザに化けました。
- 猪尾 清君 誕生日のお祝いありがとうございます。一年一年早く過ぎるように思います。時間を大事にしなければと思っていますが、思い通りにならないことが多いです。
- 岩井 常二君 誕生日プレゼントありがとうございます。73 歳になりますが、先週は今年も北海道で 3 日間スキーを楽しみ、また毎週テニスとアンチエイジング・エンジョイしています。
- 小西 泰秀君 誕生日のプレゼントありがとうございました。
- 堤 誠治君 今月、誕生日と結婚記念日です。ステキなプレゼントありがとうございました。
- 竹田 裕彦君 3 月議会中なので休みばかりですみません。初日、3 月の役選で副議長に就任いたしました。ご迷惑をおかけしますが、1 年間よろしくお願い致します。
- 吉田 勝亮君 バッジを忘れたので。

会長挨拶

○3 月 11 日、宮崎西ロータリークラブの例会に出席してまいりました。私にスピーチの機会をいただき、あすかロータリークラブの概要を説明してまいりました。週報をいただきましたが、歴史の深みを感じるような紙面でした。夜には宮崎西ロータリークラブのメンバー十数名、当クラブから 10 名ほど出席で懇親会を開いていただきました。宮崎西ロータリークラブの女性会員のお店でしたが、その方は大変な美女で、食事もカツオをはじめとした大変おいしいお料理でした。これで本当に友好クラブになれたのではないかと感じました。創立 25 周年記念式典には岡崎会長、山本幹事をはじめ

4 つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

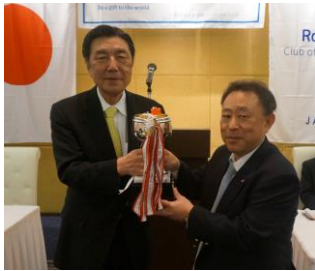
め、数名の方に出席いただけることとなりました。
大変楽しみにしています。

幹事報告

○地区大会 集合場所変更について
4月3日 午前10:30 集合 10:45 出発
集合場所：八木駅南ローソン前に変更

委員会報告

○櫃の実会 井村幹事



第125回櫃の実会

於:ハイビスカスG.C.

優勝
野々垣博紀会員

次回の例会

奈良東 RC & あすか RC 合同例会

ホスト：あすか RC

「社会不安を感じる今日 日本文化の源流を求めて」



櫃原市文化協会
戸田 守亮様

皆様こんにちは。先ほどの会長挨拶で宮崎に行かれたとお聞きしました。私も櫃原市文化協会も宮崎市文化協会と演技会や芸能・文化・日本画・洋画・書道や写真などの芸術を通じて交流を深めております。宮崎とは歴史的にも非常につながりがあると思います。

私は歴史を知る一環として、万葉集を尊重しております。万葉集はご承知の通り今から1300年前に天皇から庶民に至るまですべての人生行路を歌として集めたものです。4,516首、これだけのものが一冊の本になっておりまして、世界に誇る日本の代表的な文学であると思います。今回も一歌ご紹介させていただきます。今日は大和三山の一つである香具山を題材とした歌をご披露いたします。

ひさかたの 天の香久山 このゆふべ
霞たなびく 春立つらしも
(巻10-1812 柿本人麿)

天の香具山に、この夕暮れ、霞がたなびいている。
どうやら、春になったらしいな。

この歌は春を感じる日本人の情緒が良く表現されている歌だと思います。この頃はこの情緒も薄れてきているように感じます。本日のテーマは社会不安を感じる今日この頃、そんな時は日本文化の源流を求めて歴史にふれてはどうでしょうか。歴史から学ぶことは多くあります。徳川幕府は265年も続きました。これほど長く続いた政権は世界でも数少ないと思います。日本でも戦後は短いものが多いように感じます。265年も長い間、何を基礎に何を引き継いできたか、その前には戦国時代がありもっと前には平安時代、室町時代と歴史は続いています。歴史から読み取れることは非常にたくさんあります。

先ず「信念を貫き通す大切さ」。これは非常に大切なことだと思います。次に「前例がないからこそやる価値がある」。あの人はこうしたから成功した、あの人はこうしたから失敗した等にとらわれず、その価値を求めて信念を貫けばおのずと成功はついてくると歴史は語っております。三番目に「窮地の中で最も必要なのは、いかにマイナス情報を集めるか」。武士であろうが町民であろうが商人であろうが、色々な分野でマイナスの情報を集めることは必要であると歴史は教えてくれています。四番目に「問題山積みの時こそ必要な発想の転換」。私たちの周りには色々なことがあります。例えば、人間関係・事業関係など色々なことが重なりストレスに悩まされることもあると思います。ビジネスにしろ何にしろ、その問題が山積している時にこそ発想の転換が必要になってくると思います。必要なのは明るさと元気と少しばかりの知性です。いかに苦しくとも明るさと元気がなければ乗り越えられないでしょう。そのことも歴史は教えてくれています。最後に、「逆境や危機を自ら変革する好機ととらえ、積極果敢に挑戦していく。その中にこそ勝機が見えてくるものなのではないでしょうか。」逆境や危機などに直面した時に追い詰められ自分もおしまいだと手をあげてしまわずに、それを好機だととらえ進んでいく、こういうことも歴史に教えられることだと思います。

社会不安を感じる今日、日本文化の源流を求めて歴史にふれば歴史より学ぶことが沢山あると思います。それ以外には、強すぎる自意識が心の乱れの原因になると思います。腹が立った時に、「ありがとう」と言えば、心が静まると言われています。徳川家康は「堪忍は無事長々の基、怒りは敵と思え」と言っています。今日、日本の美と情緒は薄れていっていると感じます。もっと歴史にふれて美と情緒を学び世界に発信しましょう。